

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 6組

使用教科書: (『現代高等保健体育』(大修館書店))

保健体育の目標: 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ○教材 ・『現代高等保健体育』(大修館書店) ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
2 学期 単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康に関わる対策 ・ゴミの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ○教材 ・『現代高等保健体育』(大修館書店) ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
3 学期 単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることに興味をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとする態度を身に付ける。	○指導事項 ・健康に関する環境づくりと社会参加 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ○教材 ・『現代高等保健体育』(大修館書店) ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることができる。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることに興味をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
						合計
						35